

## 茨城県農林水産部長賞

しおばらちくのうち みずほぜんかんりかつどうそしき

### 塩原地区農地・水保全管理活動組織（常陸大宮市）

## 地域一体で守る農村環境

### 1 活動組織の概要

取組開始年度	平成 24 年度
組織構成	1 集落（塩原地区）、農業者 58 名、非農業者 24 名、土地改良区、共有地管理組合
支払区分	農地維持支払、資源向上支払（共同活動、長寿命化）
対象農用地	69.15ha（水田 39.51ha、畑 29.64ha）
対象施設	開水路 13.5km、農道 13.8km
交付金額（R2）	4,448 千円



遊休農地発生防止のための保全管理



景観形成のためのカバープランツ植栽

### 2 主な活動内容

準備点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none"><li>施設の点検・機能診断（4月）</li><li>遊休農地発生状況調査（4月）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>年度活動計画の策定（4月）</li><li>地域住民との交流会（11月）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>遊休農地発生防止の保全管理（6月、10月）</li><li>水路、路肩・法面の草刈り（6月、8月）</li><li>水路・側溝の泥上げ（4月、9月）</li><li>用水施設の機能診断、保守（4月、11月）</li><li>景観形成のための植栽（5月、6月）</li></ul>

### 3 地域の状況と取り組みへのきっかけ

- ・本地域は、常陸大宮市の南東部に位置する水田地帯です。
- ・遊休農地が増加し、地域が一体となって保全管理をすることが必要になり、組織を設立しました。
- ・遊休農地の保全活動及び地域資源の管理・補修、地域住民との交流の場として、平成 24 年度から組織を設立して活動を行っています。

#### 4 特徴的な取組

- ・遊休農地を活用した里芋の栽培や収穫体験を行い、地域住民との交流会を実施しています。
- ・農道脇の花壇への植栽活動及び広報看板の設置、農道法面へのカバープランツ植栽を実施して、農村環境の美化活動にも積極的に取り組んでいます。
- ・地域住人による水路、農道等の定期的な点検及び補修活動、並びに遊休農地の草刈りを行っています。



遊休農地を利用した里芋栽培



里芋の収穫体験



花壇への植栽活動及び広報看板の設置



水路の嵩上げ

#### 5 取組の成果・効果

- ・遊休農地を活用し、里芋の収穫体験を行うことによって、耕作放棄の未然防止及び世代間の交流の場となり、地域のコミュニティの強化に繋がりました。
- ・農道等の法面への植栽、広報看板設置により、地域内の農村環境保全意識が高まっています。
- ・用水路等施設の軽微な補修を活動組織で積極的に行うことによって、高い管理状況を維持できています。
- ・令和元年東日本台風で被災した際には、取組を通じて地域コミュニティが強化されたことにより、復旧作業がスムーズに進みました。